

・順信寺の予定

・7月12日(月)午後0時より 「定例法話会」 布教使さんは、赤平市茂尻元町 浄覚寺 山下浄薫師です。初めて来ていただきます。コロナ感染に注意して、お参りをし、美味しいと言ってくれる人がいるカレーライスを食べ、^{ぶっほうちようもん}仏法聴聞してまいりたいと思います。ご参加お待ちいたしております。

・7月28日(水)午後1時より 「親鸞聖人ご命日のお参り」

・8月5日(木)午後1時より 「おみがきもの」(お盆、報恩講を迎えるにあたり、順信寺の仏具磨きをいたします。御協力お願い申し上げます。)

○ 七月末より、遠方地区へお盆のお参りに行く予定でおります。また、8月はお盆のお参りに伺いますので、月参りは休ませていただいております。ご要望がございましたら、遠慮なくご連絡ください。

○ 夏を迎えました。コロナウイルス感染の問題はあるのですが、夏を味わいたいと思っております。ワクチン接種が進んでいるようですが、住職夫婦は7月12日で二回目接種が終わります。

「人間の眼は 光を見つめる ことはできないが

しかし 光に 照らされて

わが身を 見つめる ことはできる」

{広瀬果(江差別院掲示板より)}

～ 仏法聴聞ということが、光に遇うという作業の一つであると思うのです。

「 ほとけさま (ののさまのうた) 」

- | | |
|------------------|---------------|
| 1、のんの ののさま ほとけさま | わたしのすきな かあさまの |
| おむねのように やんわりと | だかれてみたい ほとけさま |
| 2、のんの ののさま ほとけさま | わたしのすきな とうさまの |
| おててのように しっかりと | すがってみたい ほとけさま |
| 3、のんの ののさま ほとけさま | みあかしあげて おがむとき |
| おすがたみえて きらきらと | ごころのひかる ほとけさま |

「大変な問題、難しい問題は人生に一回だけ、ということはない。

何回も何回も生まれる。

若い時にも、中年でも、老年でも、超高齢となっても何回も。」

(徳永進「サンガ 老いるについて」より)

～徳永進さんは、お医者さんで高齢の方と多く関わって来られています。生きるということは、こういうことなのだと思います。

「群れるな ひとりになれ みんなになるな ひとりになれ」

(映画「一人になる」より)

～赤信号 みんなで渡れば 怖くない という言葉を漫才師が言っていたことがありました。みんなが一緒だと安心してしまうということがありますが、人の話を聞き、自分で考えるということは生きることの基本なのかもしれません。自分自身の人生なのです。責任は自分にあるのですから。

「世界の日本人 ジョーク集」(早坂隆著)の中に以下のお話が載っていました。

●早く飛び込め!

ある豪華客船が航海の最中に沈みだした。船長は乗客たちに速やかに船から脱出して海に飛び込むように、指示しなければならなかった。船長は、それぞれの外国人乗客にこのように言った。

アメリカ人には「飛び込めば、あなたは英雄です」

イギリス人には「飛び込めば、あなたは紳士です」

ドイツ人には「飛び込むのが、この船の規則となっています」

イタリア人には「飛び込むと女性にもてますよ」

フランス人には「飛び込まないでください」

日本人には「みんな飛び込んでますよ」

～フランス人についてはよく分からないのですが、最後の日本人に言う言葉は、思わず苦笑い^{にがわら}です。

・忠峰コーナー

「万緑を 総身に受けて 夏楽し」 「永代法要 ニレの大木 盛りなる」